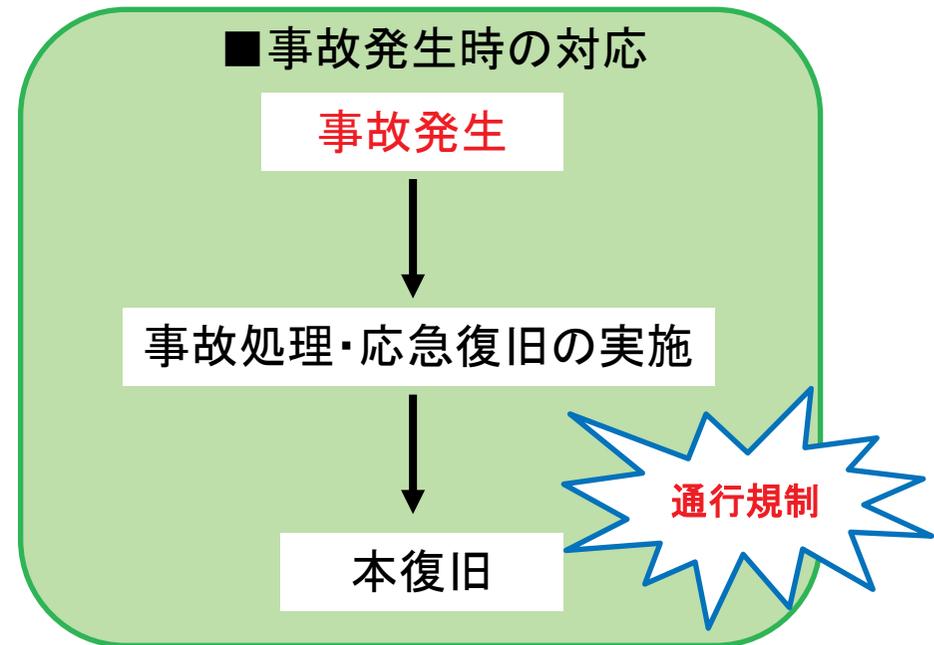
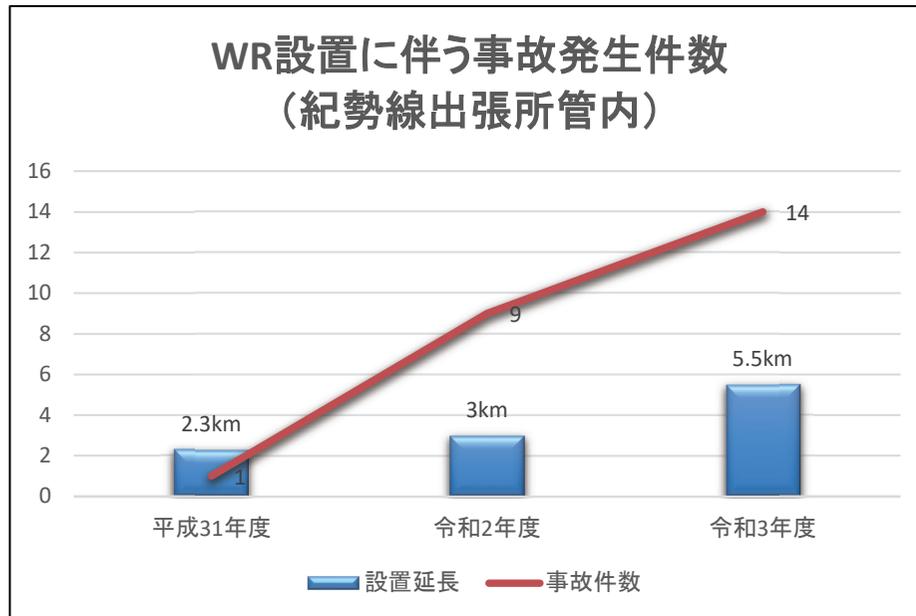


- 紀勢自動車道 ※新直轄方式(高速道路):延長:約39km  
高速道路株式会社による整備の補完措置として、必要な高速道路を建設するため、新たな直轄事業として整備され平成27年に開通。
- 重大事故につながりやすい暫定二車線区間での高速道路の正面衝突事故の緊急対策として、紀勢自動車道においても平成31年度よりワイヤーロープ式防護柵の設置。  
令和3年度末時点で約5.5kmを設置済で、今年度中の設置完了を目指す。



- ワイヤーロープ式防護柵の設置に伴い、ワイヤーロープとの接触事故が多発。
- 重大事故防止の効果は発揮しているが、応急復旧や本復旧時に通行規制が必要となり、道路管理者として緊急的な対応が増加している。



## 復旧作業について

通行規制後、約2時間～3時間程度で作業を完了し解放する事が出来る。



### 課題・問題点

- ・費用負担(原因者負担)の手続き  
復旧費用の増大
- ・WR支柱等(材料)の確保・在庫管理
  - ・通行規制時の警備員の確保
- ・事故発生時の通行規制の増加
- ・その他維持作業への影響...etc

### 今後の対策として

- 【事故自体を減らす取り組み】
  - ・視線誘導標等を設置し視認性の向上を計る
  - ・ドライバーへの注意喚起等(ソフト対策)
- 【円滑な事故対応の取り組み】
  - ・組織体制の強化(受発注者共に)